



KONICA MINOLTA

COLOR METER III F

ISO 9001
認定工場
ISO 14001

高精度で信頼に応える

Konica Minolta Color Meter

- 定常光測定
- フラッシュ光測定
- ミックス光測定
- カラーバランスモニター機能
- 指示値補正機能



The essentials of imaging

主な仕様

形 式	写真用3色式デジタルカラーメーター
受 光 部	270° 回転可能
受 光 素 子	シリコンフォトセル
測 定 機 能	LB指数/LBフィルター番号 [※] /CCフィルター番号/写真の色温度 [※] コダックラッテンフィルター
測 定 方 式	AMBI : 定常光測定 CORD : フラッシュ光をシンクロコードを用いて測定 NON.C : フラッシュ光をシンクロコードなしで測定
測 定 範 囲	定常光 : EV3~16.3 フラッシュ光 : FNO.2.8~180
繰 り 返 し 精 度	LB指数 : 2ミレッド相当 CCフィルター番号 : 2表示 写真の色温度 : 2ミレッド相当 ※当社試験条件による
表 示 範 囲	LB指数 : -500~500ミレッド相当 LBフィルター番号 : 80A+80D~85B+81EF CCフィルター番号 : 200G~200M 写真の色温度 : 1600~40000K
シャッター速度設定範囲	1~1/500秒 (1段ステップ/CORD、NON.C時)
フィルムタイプ選択	D : デイライトタイプ (5500K) A : タングステンタイプA (3400K) B : タングステンタイプB (3200K)
指示値補正範囲	LB指数 : -100~100ミレッド相当 CCフィルター番号 : 100G~100M
電 源	単3形乾電池2本 (アルカリ乾電池、マンガン乾電池、Ni-Cd蓄電池のいずれか同じもの2本)
使用温度範囲	-10℃~50℃
保管温度範囲	-20℃~55℃
大 き さ	68(幅)×160(高さ)×28(奥行) mm
質 量 (重 さ)	200g (電池別)
標 準 付 属 品	ネックストラップ、ケース、単3形乾電池2本

●ここに記載の性能および製品の外觀は、都合により予告なく変更することがあります。

ご購入いただいた製品には、カラーメーター-IIIIFの実践的な活用方法を解説したカラーメーター-IIIIFガイドブックがっています。



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくために

- ご使用前に必ず使用説明書をよくお読みください。
- 必ず規定の電圧をご使用ください。異なる電圧を使用すると、火災や感電の原因となります。

お読みは使用直前まで

顧客サポートセンター

弊社製品のデジタルカメラ、フィルムカメラ、交換レンズ、露出計などの機能、使い方、操作方法などのお問い合わせ、並びにご意見、ご要望などをお待ちしております。

0570-00711
受付時間 10:00~18:00 (日・祭日を除く)
受付時間 - PHSをご利用の場合は、06-6333-6206をご利用ください。
ファクス番号は、06-6333-6202です。

- 製品の返品・交換は、弊社製品保証書により、国内はもとより全世界に限りおこなわれます。
- このカメラは2000年10月31日現在のものです。製品の仕様・価格・価格は予告なく変更する場合があります。
- 本製品の保証書は、保証期間のみの保証書であり、製品の保証書とは異なります。
- 掲載している製品の他は別型インキの採用上、実際とは多少異なる場合があります。
- 価格は消費税を含まずです。

カメラの性能や価格の情報は変更後の価格です。ご購入の際は必ず最新価格が設置されます。

コニカミノルタ カメラ株式会社

〒500-8551 大塚南町店大仏堂町3-01



環境にやさしい大豆インキを採用しています。

3042-0535-14 ADRPK ©



カラーメーターIIIIF

希望小売価格 (税別) ¥180,000

(ケース ¥3,000 別売)

① 受光部

回転受光ヘッドの採用により、270°回転できますので、測定状況に対応した自由な角度が選べます。

② 液晶表示窓

測定に必要な情報が集中表示されます。

③ POWER(電源)ボタン

ボディ電源のON/OFFを行います。

④ M-CH (メモリーチャンネル切り替え) ボタン

指示値を補正するとき、メモリーチャンネルの選択に使用します。このボタンを押しながらアップダウンレバーでメモリーチャンネルをセットします。メモリーチャンネルは9個用意されています。

⑤ M(メモリー)ボタン

任意の補正量をメモリーするときに使用します。このボタンを押しているあいだ、LB指数とCCフィルター番号の補正量がアップダウンレバーの操作で順次設定できます。

指示値補正機能

カラー写真の色再現は、光源とフィルムタイプのみによって決まるわけではありません。フィルムの種類、現像処理、撮影時の露出レベル、被写体の分光特性など、さまざまな条件によって色再現に差が生じます。本機には、測定値に対して色再現の微妙な補正量をメモリーできる指示補正機能が搭載されています。テスト撮影などによって補正量を求め、本機にメモリーしておけば、同一条件で撮影する場合には、常に適切な測定値を得ることができます。また、この機能を使えば、撮影者の作画意図や好みに合わせた補正量をメモリーすることも可能です。複数の条件に対応できるように9個のメモリーチャンネルを備えています。

⑥ DISPLAY (表示モード切り替え) ボタン

このボタンを押すごとにLB指数-CCフィルター番号表示/LB-CCフィルター番号表示/写真の色温度(K)表示に順次切り替わります。

⑦ シンクローターミナル

フラッシュ光(コード式)測定時、シンクローコードを接続します。

⑧ 測定モード切り替えスイッチ

このスイッチをスライドするごとに定常光測定(AMBI)からフラッシュ光測定(コード式/ノンコード式)に順次切り替わります。

⑨ 測定ボタン

定常光測定では、このボタンを押しているあいだは、連続して測定を行います。

⑩ アップダウンレバー

シャッター速度の設定、メモリーチャンネルの選択、指示値補正量の設定を行います。

⑪ フラッシュレ인지切り替えスイッチ

フラッシュ光測定時に光量の大きさに合わせてH(約F2.8~180)、Lo(F2.8~約22)の設定を行います。

⑫ フィルムタイプ切り替えスイッチ

使用するフィルムタイプに合わせて、デライトタイプ(5500K)、タングステンタイプA(3400K)、タングステンタイプB(3200K)の設定を行います。

⑬ 電池室

電源には、入手しやすい単3形電池(2本)を使用します。



1台で定常光とフラッシュ光を測定。 指示値補正機能の搭載で微妙な色再現にも応える 写真用3色式デジタルカラーメーター。

<例>タングステン光源



B0Aフィルター+B2Bフィルター使用 (フィルム: デイライトタイプ)



ノーフィルター

<例>フラッシュ光+蛍光灯光源



B1Cフィルター+30Mフィルター使用 (フィルム: デイライトタイプ)

① 定常光測定

使用するカラーフィルムに合わせて、フィルムタイプ切り替えスイッチを (デライトタイプ: 5500K、タングステンタイプA: 3400K、タングステンタイプB: 3200K) いずれかにセットし、測定モード切り替えスイッチを AMBI にセットします。次に DISPLAY (表示/モード切り替え) ボタンを押して LB 指数-CC フィルター-番号表示 / LB-CC フィルター-番号表示 / 写真的色温度 (K) 表示の3つの表示モードの中から希望する表示モードにセットし、光源に向けて測定ボタンを押せば、測定値が液晶表示窓に表示されます。特に、LB-CC フィルター-番号表示が液晶表示窓に直接表示されますので、補正用フィルターの選択が素早く簡単にできます。従来のように換算表を使って確認する必要がありません。また、測定後に他の表示モードに切り替えても、それに対応した測定値がそれぞれ表示されます。測定範囲は、EV3〜16.3 (ISO100) です。

<表示例>



② フラッシュ光測定 (コード式/ノンコード式)

操作方法は定常光測定と同じですが、フラッシュ光測定では測定条件に応じてコード式とノンコード式のモードが選べます。また、測定前にあらかじめフラッシュ光量の大きさに合わせて、フラッシュレンジ切り替えスイッチを Hi (約 F22〜180) または Lo (F2.8〜約 22) にセットします。シャッター速度は 1秒〜1/500秒までの広範囲で設定できます。

③ ミックス光測定とカラーバランスモニター機能

暗闇での撮影を除いて、通常のフラッシュ撮影ではフラッシュ光と定常光がミックスされた状態です。本機は、フラッシュ光のみの測定はもちろん、フラッシュ光と定常光のミックスされた状態での色みを測定することができます。例えば、定常光を活かした条件下での撮影や、逆に、定常光の影響を受けないような撮影を意図する場合などに、シャッター速度の変化に伴うフラッシュ光と定常光との成分比の変化が、指示値 (LB 指数-CC フィルター-番号表示 / LB-CC フィルター-番号表示 / 写真的色温度 (K) 表示) の変化として液晶表示窓で読み取れます。また、1回の測定で測定値の成分を分離して記憶しますので、測定後でもシャッター速度を変更することができ、そのときの色み (カラーバランス) をモニターすることができます。

<表示例> フラッシュ光+定常光 (タングステン光) で撮影されている被写体に対してシャッター速度を変更した際の液晶表示窓の変化 (フィルム: デイライトタイプ、ノーフィルターで撮影)

